

御挨拶

私共、盛岡信用金庫は本日1月19日をもって、創立123周年を迎えることができました。その記念事業の一環として、本日、更生保護法人岩手保護院様に寄付金を贈呈させていただきます。

顧みますと、当金庫は明治36年1月19日に盛岡信用組合として創立いたしました。初代組合長を高橋伊兵衛とし、共存同栄の精神のもと、一貫して基本理念であります「地域社会の発展と豊かな暮らしづくりを目指して」を心に刻み、歩んでまいりました。

岩手保護院様とのご縁は、大正3年、私共の初代組合長、高橋伊兵衛が岩手保護院様の理事と会計に就任したことに始まり、大正8年に移転をされる際は、現在の下ノ橋町の土地を高橋伊兵衛が提供をしております。

また、当金庫2代目組合長の赤沢亦吉も大正5年から昭和23年まで理事を務めておりました。

この度、岩手保護院様が施設を全面改築するとの報に接し、当金庫の先人の思いを承継することによって、暮らしやすい社会の形成に少しでも寄与したいと考えております。

「罪を憎んで人を憎まず」という言葉がありますが、罪を犯した人達を社会から切り離すのではなく、誤りを正し、更生しようとする姿勢を後押しする社会でなければなりません。

更生保護法人岩手保護院様は、明治34年に創立後、明治36年に開院され、100年以上に亘り、その使命を果たされて参りました。

そのご功績に、心より敬意を表する次第であります。

今後は両組織で力を合わせ、全ての人にとって明るく住み良い、安全安心な街づくりに努めて参りますこととお誓い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

令和8年1月19日

盛岡信用金庫理事長 浅 沼 晃